

## 平成30年11月教育委員会定例会 会議録

平成30年(2018)11月28日(水)午後2時、出雲市教育委員会定例会を出雲科学館会議室に招集した。

### 1 会議に出席した委員

教 育 長	榎 野 信 幸
教育委員(教育長職務代理)	松 浦 剛 司
教 育 委 員	小 豆 澤 貴 洋 子
教 育 委 員	水 陽 子

### 2 会議に欠席した委員

教 育 委 員	錦 田 剛 志
---------	---------

### 3 説明のため会議に出席した者

教 育 部 長	植 田 義 久
教育部次長(教育施設課長)	金 山 隆 司
子ども未来部次長 (保育幼稚園課長)	坂 本 伸 仁
教 育 政 策 課 長	渡 部 祐 子
学 校 教 育 課 長	金 築 健 志
児 童 生 徒 支 援 課 長	児 玉 弘 之
学 校 給 食 課 長	金 森 真 治
出 雲 科 学 館 長	山 本 利 明
学 校 教 育 課 主 査	山 崎 創 樹
児 童 生 徒 支 援 課 課 長 補 佐	渡 部 俊 樹

### 4 会議の書記

教 育 政 策 課 課 長 補 佐	常 松 晃 好
-------------------	---------

### 5 傍聴者

1人

## 開会

(榎野教育長) 本日の会議に際しまして、錦田委員から、「出雲市教育委員会会議規則」に基づく欠席の届出がありましたことをご報告いたします。錦田委員はご欠席ですが、本日、私を含め、過半数の委員の出席がありますので、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定により会議を開催いたします。

それでは、只今から、平成30年11月出雲市教育委員会定例会を開会します。本日の会議は、お手元に配付しております日程のとおり行います。

## 1 教育長行政報告

(榎野教育長) それでは、教育長行政報告を行います。

(榎野教育長) (以下、報告項目のみ掲載)

### (1) 前回以降の動向

H30.10.25	いじめ問題対策委員会
H30.10.27	同和教育研究発表会(檜山)
H30.10.28	隣保館まつり
H30.10.29	管内教育長会
H30.10.30	校長会懇談会
H30.10.31	県小中学校養護教諭研究大会
H30.11.1	県教職員永年勤続表彰式
H30.11.1	県教育功労者等表彰式
H30.11.2	市議会全員協議会
H30.11.2	新規採用教職員連絡協議会
H30.11.6	校長の会議
H30.11.8	ICT活用教育モデル事業授業公開
H30.11.9	中国地区小学校長会研究大会
H30.11.9	科学館運営理事会
H30.11.16	放課後子ども教室・児童クラブ研修会
H30.11.16	中学生議会
H30.11.16	平田西部5校再編統合推進委員会
H30.11.17	神戸川小学校開校50周年式典
H30.11.18	青少年育成推進大会
H30.11.19	VRを活用した地域振興講演会
H30.11.19	まちづくり懇談会(稗原)
H30.11.20	奨学事業運営委員会
H30.11.20	人権作文・ポスターコンクール表彰式
H30.11.22	市職員永年勤続表彰式

H30.11.22	健康教育研究発表会(高浜小)
H30.11.22	医師会学校医部会との懇談会
H30.11.27	社会教育計画策定委員会
H30.11.28	定例教育委員の会議

## (2) 今後の予定

H30.12.1	同和教育研究発表会(乙立)
H30.12.3	市議会初日 ~12.20
H30.12.5	市議会一般質問 ~12.10
H30.12.11	県学力調査
H30.12.11	檜山小学校・東小学校再編統合推進委員会
H30.12.12	市議会文教厚生常任委員会・予算特別委員会分科会
H30.12.13	校長の会議
H30.12.13	塩津小学校・北浜小学校再編統合推進委員会
H30.12.20	市議会最終日
H30.12.25	定例教育委員の会議

**(槇野教育長)** それでは最初に、先ほど出雲科学館理科学習をご覧いただきましたので、ご感想をお聞きしたいと思います。

**(松浦委員)** 先ず、見ていて楽しいですね。我々の時代とは全然違う角度で見たり理解したりできるので、この設備があることで、より理科学習に興味を湧いてくる子が増えるんじゃないかというふうに思いました。

**(小豆澤委員)** 同じような感想ですが、それまでスポーツばかりしていた子供さんが、講師さんの白衣を見てそれに憧れて、今度高専を受験されるという話をお聞きしたことがあって、学校現場でも理科の先生は白衣を着ていらっしゃったことを記憶していますが、今の子どもたちにとって、あの白衣がどういうふうに映っているのかなと想像しながら見ていました。

**(槇野教育長)** 科学館では、子どもたち自身が白衣を着て行う実験もあります。水委員はいかがでしょう。

**(水委員)** 私は、2回目ですが、改めて、学校の中では経験できないスケールの大きさなどを感じました。私の息子も以前、すごく科学館学習を楽しみにして、それでかなり理科にのめりこんでいたこともありました。また、「学校の外」ということもすごく意味があると思います。出かけて来て、違う体験をするということは、子どもたちにとって大きな刺激になると思います。

**(槇野教育長)** ありがとうございます。次に、ただ今行いました行政報告について、教育委員の皆様にご出席いただきました行事もございますので、それらのご感想も含め

て、ご意見やご質問をお願いしたいと思いますが、最初に、11月8日の「ICT活用教育授業公開」について、ご感想等あれば、お願いいたします。

**(松浦委員)** 1時間目の国語の授業については、グレードが高い授業という印象を受けました。次の日に、偶然にも高校で模造紙を使ってプレゼンするという対照的な授業を見る機会があり、それと比較することができたので、今市小学校のICTを活用した授業は、いろいろな写真を見せたりとか、パワーポイント風にやったりとか、やはり、見る側にとって受け入れやすく理解しやすい授業であるということ、比較できた分、より鮮明に理解ができました。子どもたちも、写真を広げたりとか、操作に慣れるのが早いですね。それと、2時間目の道徳の授業ですが、子どもたちが書き込んだ意見が反映されるというのは良かったんですけど、それがあまり活用されていないという印象を受けました。算数とか、もうちょっと違う授業で見たかったなと思いました。

**(小豆澤委員)** 私は先ほど話があった1時間目の国語の授業を見ることができなくて、道徳を見ました。その正直な感想は松浦委員と同じで、その授業におけるICTの必要性に疑問を持ちながら見たというのが実際のところでした。それで、いろいろな試行錯誤をこれから重ねていかれると思いますが、1時間目の国語の授業における活用の仕方はすごくよいものだったという意見を伺っていたので、ICTを使うことによってこれだけの効果が引き出せたということが見て取れるものにどんどん積極的にチャレンジしてもらいたいなというふうに思います。

**(榎野教育長)** 国語は単元が良かったですよね。自分のまちの課題を見つけてどうしたらよいかというプレゼンをするという単元でしたから。

**(松浦委員)** 授業を見る前の印象としては、先生がもっと活用して授業を進めるというイメージだったんですけど、完全に主役は子どもですね。そこがすごく見る前と印象が違った部分でした。

**(榎野教育長)** 小豆澤委員さんがおっしゃったように、これからいろいろな使い方をしながら、「より効果的な使い方」ということがだんだんとうまくなっていくのかなというふうに思ったところです。それから、11月16日の「中学生議会」はいかがでしたでしょうか。

**(水委員)** 大変良かったと思います。私は、去年に続いて2回目で、中学生としてのいわゆる「付度」のない発想、意見はすごく新鮮で、私たちであれば言っても無駄かなとか、考えてもそれは無理だろうと先に思ってしまうんですけど、中学生の純粋な目線で行政を見る、あるいは地域を見る、自分の身の回りのことを考えるというのは、大事なことだなと思いました。

**(小豆澤委員)** 私は3回目だと思いますが、例年すばらしいなと思いながら、そろそろ

第1回目の子どもたちは、出雲市の様々な課題に寄与すべく帰ってきて活躍してくれるとありがたいなと思いました。

**(榎野教育長)** それから、11月22日に高浜小学校でありました「健康教育研究発表会」はいかがでしたでしょうか。

**(小豆澤委員)** 睡眠にあれだけの様々な良い効果があるということは私も知りませんでした。一方で、今の小学生の「学校から帰ってからのやることの多さ」や「帰る時間」等を考えると、「9時就寝」というのはハードルが高いなと思いながら伺ったところです。とにかく、こういった研究発表会も大事ですけれども、各学校で様々な取組を行って、それが水平展開できたら良いのかなと思いました。

**(榎野教育長)** 睡眠の関係は、何か新たな取組ができればと思っておりますし、学校の取組も大事ですけれど、家庭での取組を促していけるようなものを一緒にやっていかないと、難しいかなというふうには思っております。

## 2 会議録の承認

**(榎野教育長)** 次に、会議録の承認に入ります。前回10月定例会の会議録について、何かご意見等がありますでしょうか。

**(各教育委員)** ありません。

**(榎野教育長)** 特に意見等ありませんので、10月定例会の会議録については承認します。

## 3 議事

**(榎野教育長)** それでは、議事には入ります。「議第30号 出雲市立幼稚園条例施行規則の一部を改正する規則」を、こども未来部 坂本次長 に説明願います。

**(坂本次長)** 資料に基づき説明

**(榎野教育長)** 只今の、議第30号について、何か質疑等はありませんか。

**(各教育委員)** ありません。

**(榎野教育長)** ないようですので、議第30号について、承認してよろしいですか。

**(各教育委員)** 異議なし。

**(槇野教育長)** ご異議ありませんので、議第30号については承認します。

#### 4 報告

**(槇野教育長)** それでは、報告事項に入ります。報告(1)「12月定例市議会への提出案件について」のうち「①補正予算案件」について、教育部 金山次長 に説明をお願いします。

**(金山次長)** 資料に基づき説明

**(槇野教育長)** 只今の報告について、何か質問等はありませんか。

**(松浦委員)** エアコン整備事業の「財源内訳」の「国・県支出金」2億4,900万円というのは、報道等されていた急きょ国で措置されたものですか。

**(槇野教育長)** そうです。「臨時特例交付金」という名称で3分の1を国が負担するというもので、制度としては従来からありましたが、予算枠が非常に小さく、要望しても予算をいただけないという状態がずっと続いていましたけれども、今回は別枠で、「臨時特例交付金」というかたちで予算を確保してもらえたので、予算を組ませていただきました。あわせて、その交付金を充てた残りの部分についても、「補正予算債」というものが充たれるということになりました。この「補正予算債」というのは、充当率が100%、つまり交付金部分を除いた全額についてこの起債を充てることができます。なおかつ、この起債の償還については、交付税措置がありますので、実質の負担は低く抑えられます。大変ありがたい国の補正予算であると思っております。

**(松浦委員)** この先、幼稚園も国として整備していくという方針なのでしょうか。

**(槇野教育長)** 幼稚園についても今回補正予算をあげています。財源も同じです。

**(槇野教育長)** ほかは、いかがでしょうか。

**(各教育委員)** ありません。

**(槇野教育長)** 次に、「②専決処分の報告」について、教育政策課 渡部課長 に説明をお願いします。

**(渡部課長)** 資料に基づき説明

**(槇野教育長)** 只今の報告について、何か質問等はありませんか。

**(各教育委員)** ありません。

**(槇野教育長)** 次に、「③報告書の提出」について、教育政策課 渡部課長 に説明をお願いします。

**(槇野教育長)** 只今の報告について、何か質問等はありませんか。

**(松浦委員)** 有識者の評価は、「がんばって進めてください」という評価が多いですが、委員から何か指摘などはありましたか。

**(槇野教育長)** 肯定的といいますか、評価をいただいた事業が多かったかなと記憶しています。ただ、部分的には「もっとこうしたら」といったご意見もあり、コメントとして掲載していますので、それらの参考すべきご意見については、これからの事業に反映させていきたいと思えます。

**(松浦委員)** 不登校対策事業のコメントで「今までと目線を変えた方策が必要」とありますが、具体的に言及された事柄がありますか。

**(槇野教育長)** 具体的な話は特になく、問題提起をいただいたものと理解しています。不登校対策に関しては、様々なことをやっていますが、なかなか減らないということも委員の皆さんも感じていらっしゃるし、やはり、根本的な部分の対策、つまり「不登校になったから」という対症療法的な対策も必要ですけれども、それだけではなくもともとの「学級づくり」であるとか「教員の指導のありかた」であるとか、そういったところへ力を入れていかないといけないかなと思っています。

**(小豆澤委員)** 帰国・外国籍児童生徒支援事業の有識者の評価で「帰国・外国籍児童生徒の教育については、しっかり責任を持つ必要がある」とありますが、ここまで断言される理由が私には分からないところがあって、前回の定例会でも質問をさせていただいたところです。この有識者のコメントでも「民間企業も巻き込んだ取組」という記載がありますので、そういった協議が早く開かれることを望みたいなと思えます。

**(槇野教育長)** 次に、報告(2)「学校給食における異物混入について」を、学校給食課 金森課長 に説明をお願いします。

**(金森課長)** 資料に基づき説明

**(槇野教育長)** 只今の、報告(2)について、何か質問等はありませんか。

**(小豆澤委員)** 委託先の社長を呼んで嚴重注意をして、今後の原因究明と継続的に異物混入対策を講ずるよう指示したとありますが、原因が特定されていません。それ以前にも原因究明できないという事案が結構あったと思います。私の感覚として、確定もしていないところに、よくこのような指示が出せるな、と違和感をすごく感じます。これだけ多発するということに対して、根本的な対策が教育委員会としてはとれないものなのでしょうか。金属探知機の導入検討も要請されたとありますが、それだけの委託料で発注されているのでしょうか。単価等において無理なものを業者に押し付けてはいないでしょうか。本当に安全なものをと考えれば、行政としても、負担する私たち親としても、考えないといけない大事な時期に来ているんじゃないかと思います。原因が特定されない中、民間企業に対して上からの目線で「嚴重注意」というのは高圧的な印象で、非常に違和感を感じます。

**(金森課長)** 実際に異物が発見された状況から、学校など外部において混入した可能性が考えにくい状況であることと、精米した米に混入していた可能性についても検証しましたが、納入業者の工場では精米段階及び袋詰めをした後において、複数回に渡って金属探知機にかけて製品として出しているらしいので、それらの状況から炊飯センターで混入があったものとほぼ断定して「嚴重注意」としたところでございます。ただ、原因の特定に至っていないということは事実でございます。

**(松浦委員)** ペナルティの規定はあるんですか。

**(槇野教育長)** ありません。

**(小豆澤委員)** 金属探知機の導入に関して該当の企業からはどういう返事がありましたか。

**(金森課長)** 価格のこともありますが、安心・安全な給食を提供するために市の方から要請しましたので、前向きに検討していただくということを言っていたところでございます。

**(松浦委員)** 他市と比べたときに、出雲はやはり多いのでしょうか。

**(金森課長)** 他市と発表する基準が同じかどうかということとは分かりません。ただ、本市は、金属が出れば必ず、また、プラスチックであっても鋭いものであれば公表させていただきます。本市は厳しくやっております。

**(小豆澤委員)** 給食を止めた段階で、「一部喫食していた学校があったが異常がなかったことを確認した」とありますが、食べた学校だけ確認したのでしょうか。

**(金森課長)** 全ての学校に連絡をして、食べたというところは合わせて異常がなかった



か確認したものです。

**(小豆澤委員)** 食べていないところのご飯は確認されていないのですか。

**(金森課長)** 異物混入が確認された時点で、他のご飯にも混入している可能性があるということで、回収、廃棄しています。

**(小豆澤委員)** 原因が分からないのであれば、そこも調査すべきだと思います。

**(植田部長)** 委員がおっしゃいますように、残ったご飯を追求して調査をすれば原因究明に至る可能性もあるかもしれませんが、一方で、次の日の給食をどうするかということで動かなければいけない面もあり、そこまでの対応は難しいところです。

**(小豆澤委員)** 給食の外部委託先は何社もあるのでしょうか。

**(金森課長)** ご飯は1社です。パンは5社、麺が2社、牛乳は1社、主なところはそういったところです。

**(小豆澤委員)** 外部委託先は民間事業者で設備更新のことなどもありましようから、子どもたちに良い給食を提供するための委託のあり方に関して、一度協議された方が良いと思います。

**(榎野教育長)** 事業者にとって給食がその事業においてどの程度ウェイトを占めているかということもありまして、ほぼ100%給食というところになれば、単価の中で設備投資などが回収できるようなことも考えていかなければいけないかなと思いますが、他の事業もあるような場合が多いと思いますから、そのところをどういうふうに見ていくのかなということではありますけれど、うまく折り合いがつくところを見つけ出して設備投資も進めてもらってなおかつ単価を妥当といわれるものに設定できればと思います。

**(松浦委員)** 異物混入がこれまで繰り返されていますが、結局特定できないという報告が続く中、この状況に慣れるのが一番怖いかなと感じています。教育委員としても、保護者が感じているであろう「またか」という感覚は忘れないようにして、いろいろな角度から意見を出し合うことは非常に大事なかなと思いました。

**(榎野教育長)** 何らかの対策強化につながるようなこともやっていかなければと思いますし、各関係の方面と相談しながらできるだけリスクを小さくするような試みとといいますか、働きかけをやっていかなければいけないかなと思っているところでございます。

## 5 その他

(榎野教育長) では、「その他」に入ります。教育委員会の後援・共催事業について、教育政策課 渡部課長に説明をお願いします。

(渡部課長) 資料に基づき説明。

(榎野教育長) 只今の報告について、質問等はありませんか。

(各教育委員) ありません。

(榎野教育長) その他、委員の皆さま、あるいは事務局の方で、何かございますか。

(各教育委員) ありません。

## 6 次期教育委員会の開催時期

(榎野教育長) 次期教育委員会の日程ですが、12月25日(火)の、午後2時から、市民応接室で開催いたします。

## 閉会

(榎野教育長) 以上をもちまして、平成30年11月出雲市教育委員会定例会を閉会します。

(15:14) 定例教育委員会閉会